

科目名 (Eng)		経済学演習 I (Economics Practice 1)						
担当教員		米本 清						
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数		分野	形態	学修単位科目
		コミュニケーション情報 学科	4	通年	必修	2	(60)	専門
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-2)。(B-4関)。(C-1)。(D-1)。							
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3)。 JABEE基準1(1)との対応：d(4) JABEE 推奨科目							
授業の概要と方針		実際の経済問題と関連付けながら、経済学、特にマクロ経済学の基礎理論を学習する。						
到達目標		①GDPの決定要因を理解する。 ②乗数理論を理解する。 ③IS-LM分析と財政・金融政策の理論を理解する。 ④マクロ経済学の応用分野に関する基礎知識を習得する。						
授業計画								
	週	授業項目	理解すべき内容				準備学習	
前期	1	導入(1)	経済学とは何か・マクロ経済学とは何か				各章ごとの課題を行う	
	2	導入(2)	経済主体					
	3	国民経済計算(1)	GDPと三面等価					
	4	国民経済計算(2)	物価指数・景気指標					
	5	GDPの決定(1)	ケインズ消費関数・貯蓄関数					
	6	GDPの決定(2)	乗数理論					
	7	消費	異時点間消費選択・ライフサイクル仮説・恒常所得仮説					
	8	前期中間試験						
	9	投資	ケインズの投資理論・新古典派の投資理論				各章ごとの課題を行う	
	10	貨幣供給	貨幣供給の理論					
	11	貨幣需要	取引動機と資産動機					
	12	IS-LM分析(1)	IS曲線					
	13	IS-LM分析(2)	LM曲線					
	14	IS-LM分析(3)	均衡の分析					
	15	前期のまとめ	期末試験の講評と前期のまとめ					
後期	16	経済政策	マクロ経済政策の概要				各章ごとの課題を行う	
	17	金融政策	金融政策の効果					
	18	財政政策	財政政策の効果					
	19	国際マクロ経済学(1)	外国貿易とGDP					
	20	国際マクロ経済学(2)	為替レート・マクロ経済政策と開放モデル					
	21	総需要	物価と総需要					
	22	総供給	賃金と総供給					
	23	後期中間試験					各章ごとの課題を行う	
	24	インフレーション	インフレーションに関わる理論					
	25	失業	失業に関わる理論とフィリップス曲線					
	26	経済成長(1)	ハロッド・ドーマーモデル					
	27	経済成長(2)	新古典派成長理論					
	28	経済成長(3)	内生的成長理論					
	29	マクロ経済学と現代経済	マクロ経済学の現代経済への応用					
	30	後期のまとめ	期末試験の講評と後期のまとめ					
試験について		中間試験は授業時間中に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する						
評価方法		定期試験の成績80%、課題20%として総合的に評価する。						
教科書		入門マクロ経済学、嶋村紘輝他、中央経済社						
参考書		新版ミクロ経済学、嶋村紘輝、成文堂						
関連科目								
履修上の注意		各章の終了時に課題を出す。						